

ふれあいトーク記録書 （ 議会報告会 ）

開催日時： 令和 7年 2月22日（土）午前10時～11時30分
場 所： 生涯学習センター 研修室1・2
参加人数： 20人（市民） 15人（市議会議員） 計35人
次 第： 1. 開会あいさつ 市議会議長 関戸郁文
2. 議員自己紹介
3. 歳入歳出予算と5つ事業について説明 副議長、財務常任委員会正副委員長
4. 意見交換
5. 閉会あいさつ 市議会副議長 井上真砂美

項目	参加者の意見・質問	議会の応答
説明を受けて	・ 5つの事業を選んだ理由は。 ・ 市財政のプライマリーバランスはどうなっているか。 ・ 財政調査委基金を取り崩す必要があるのか。本市の財政規模なら15～16億円が必要だが。	・ 正副議長、財務常任委員会正副委員長で決めた。 ・ 難しいテーマだという認識はしている。 ・ 少しずつ積み立てができています。
P F A S 対策について	・ 血液検査の補助ぐらいすべきではないか。	・ 国の目標値を下回っているので問題ない。 ・ 数年で排出されると聞いている。 (他の発言は市民から制止された)
市職員の働き方について	・ 市職員の働き方を見直せば120万円の財源ができるという試算がある。	

中高生世帯への支援について	・乳児期・幼児期の子育て支援の施策はあるが、中高生世帯への支援は少ないように感じる。受験のための補助金などをやらないのはなぜか。	・国では高校授業料無償化の動きがある。 ・市でも小中学校屋内運動場の空調整備や給食費の助成、タブレットの更新、中学卒業時の奨学金などを行っている。
市民個人の意見について	・公債費の状況は。 ・議会事務局職員の時間外勤務手当の推移をチェックすべき。議会基本条例のせいで増えていないか。 ・視察先はどう選んでいるのか。視察内容は本市の状況を見て提案すべき。 ・一部事務組合の視察は必要に応じて行うべき。 (議会が応答したことのみ掲載)	・平成15年度以降、市債は減少傾向にある。 ・時間外勤務は減ってきている。 ・類似団体を選んでいる。 ・最近は視察を行っていない。
公共施設再配置計画について	・計画の進捗状況は。特に行政区の会館の譲渡は。	・まだ先の計画なので、明確な方針は決まっていない。五条川小学校区統合保育園など成功例を重ねていく。
議長の視察について	・常任委員会に所属していない議長も視察に行くべきでは。	・議長会等で行っている。
五条川桜並木の保全について	・議会内で五条川桜並木保存会のPRや保全についての検討は行われているか。	・全議員が認識している。ふるさと納税の活用項目にも入れた。議会が視察を受けたときにPRしている。

新年度予算について	・議会報告会だが意見交換会という内容。議員の名札が必要。時間がなく予算を精査できていないが、いくつかについて聞きたい。 ・小中学校屋内運動場空調整備はどのような順番でおこなっていくのか。 ・桜まつりの路上駐車問題、車の混雑への対策を。 ・石仏公園整備でにぎわいづくりを。名鉄沿線でありイルミネーションをやってはどうか。 ・防災対策臨時補助事業の予算が少ないのでは。国の交付金があるからではなく、市が検討すべき課題。	・令和7年度にすべて行う。 ・駐車場からシャトルバスなどの検討が必要。 ・イルミネーションは市民中心の取組なので、市民側から提案していただければありがたい。 ・交付金充当のメニューは市で検討している。議会で質疑していく。
防災対策について	・防災対策の補助は自助として必要。福祉避難所のダンボールベッドなどの備蓄場所がない。使っていない小学校のプールを活用しては。自宅避難が多いと見込まれるが、個別支援計画をつくっても財源の保障がない。	・住宅耐震化率98%まで進んでいるが、震度6強の地震が連続して2回起これば、基礎が壊れる。ダンボールベッドは事業者との協定で運んでくれることになっている。
投票率について	・議会報告会に初めて参加したが、若い世代の参加が少ない。投票率を向上させる取組を若い議員が提案してほしい。	・投票率は都市部が低く、山間部が高い傾向にある。常任委員会で視察も行い様々な提案をしている。
予算審議にあたって	・事業効果を考え、予算の組み換えや増減を。 ・スマートインターチェンジの進捗状況は。 ・業務の効率化で市職員の時間外勤務は減ったか。	・事業効果を考え審議に臨む。事業の外部評価も始まっている。 ・国の準備段階調査が採択されたところ。 ・IT化で業務の効率化が進められてい

	・「１０３万円の壁」と言われているが、市の税収への影響はどうか。	る。 ・市の税収が１０億円減ると聞いている。
--	--	---